

不登校対策支援プラン

プランの策定にあたって

更新日 4 月 10 日

県内において不登校児童生徒数が増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

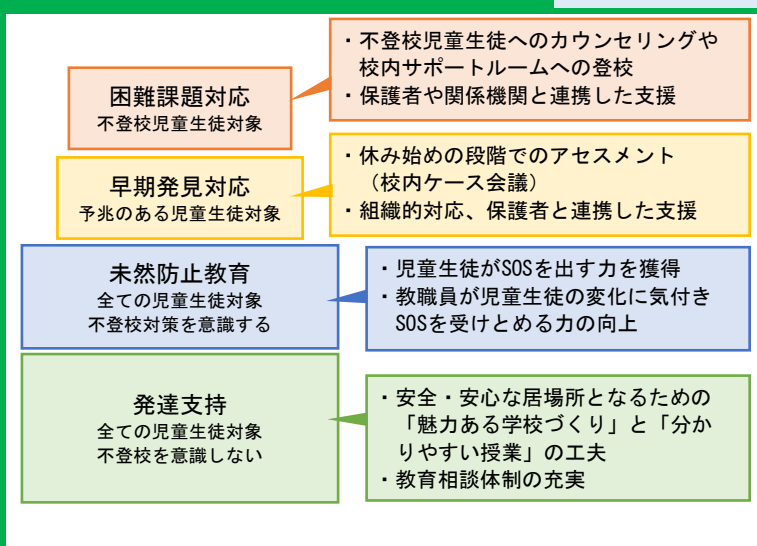
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 気になる児童について情報共有し、適切な支援を行う。
- 2 保護者や関係機関との連携強化を図り、支援についてのケース会議を実施する。
- 3 ICTや1人1台端末を活用した学べる環境づくりを進める。

不登校対策における重層的支援構造

参考：生徒指導提要R4.12



不登校対策チーム構成

校長、教頭、不登校・生徒指導担当、養護教諭、該当児童担任、SC、SSW

不登校児童生徒支援関係機関等

学校サポートチーム、教育支援センター（さつき学級）、学校運営協議会、民生委員・児童委員、社会福祉課、家庭児童相談室

4つの層での取組 等

発達支持

- ・人と関わり合う学習活動を重視し、支え合う集団づくりを進める。
- ・児童や保護者がいつでも気軽に相談できる環境づくりを進める。

未然防止教育

- ・心や体の不調、不安があるときの対処法等について、学年に応じた学習を実施する。
- ・定期的に職員研修を行い、職員一人一人の資質向上を図る。

早期発見対応

- ・健康観察、活動の様子の観察などを全職員で行い、情報共有しながら児童理解に努める。
- ・児童の実態に応じた支援や保護者への対応をチームで行う体制を整える。

困難課題対応

- ・安心して学べる場所を確保する等、学びの環境づくりを推進する。
- ・保護者や関係機関との連携を深めながら、相談体制や支援体制の充実を図る。